

自動運転実証実験について

(静岡県地域交通課)

1 概要

静岡県による「しずおか自動運転 Show CASE プロジェクト」の一環として、沼津駅-沼津港間においてバス型車両を用いた自動運転レベル3の実証実験を行う。

2 目的

交通量の多い都市部において、自動運転技術、高度交通システムによるBRT化等の検証を行うとともに、回遊性向上によるにぎわい創出等のまちづくりへの自動運転活用の可能性を検証する。

3 実験概要

沼津港-沼津駅

【交通課題】

沼津港は、県東部地域の代表的な観光地として年間160万人以上の集客力があり、その交通手段は、関東圏からの自家用車利用が7割以上。港が賑わう一方で、駅周辺市街地への波及や、2区間を接続する既存バス路線の混在等の問題がある。

【検証内容】

移動自体を楽しむモビリティとして、また運転手不足への対策として、当該地域への導入の検証を行う。さらには定時性、高い運行頻度を実現するための、BRT利用としての可能性についても検討(信号制御など)を行う。



観光客数：年間約166万人（H30年度）



4 今後のスケジュール(案)

2019年7月頃	実験内容の協議 実施計画の策定(運行ダイヤ、公安協議など)
2019年8月頃	実験内容の公表(未来創造まちづくり構想検討会議：県)
2019年度下半期	実証実験の実施

(参考資料)

しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト (2018-2020)



1 目的

目的	自動運転を活用した移動サービスの導入による地域交通の課題解決の検証 (運転手不足、過疎地域等高齢者への移動支援、公共交通ICT化等への対応)
	EV等、次世代自動車及び自動運転車両の研究による県内企業の技術開発を促進

2 事業概要

1 点群座標データの活用

県管理道路1,000km以上の3次元点群座標データのオープンデータ化⇒全国初
ダイナミックマップ基盤(株)と静岡県との協定締結(2017.11)
・県有データから高精度3Dマップ化(自動運転活用)に成功




2 実験車両(高精度3Dマップ走行) in Ecopa

タクシー型



超小型 EV



バス型 EV



2018年度使用車両

3 2019年度実証実験地区(4箇所)



交通事業者の役割

- ・コストマネジメント・シーズの検討
- ・ICT技術による運行への対応と理解

×

地域(市町・住民)の役割

- ・自動運転社会の受容性確認 ICT技術の普及
- ・地域ニーズの把握(何に困っているのか?)

×

県+参画企業の役割

- ・技術・システムのサポート
- ・次世代モビリティ関連企業とのネットワーク形成

実証実験2019~

新たなモビリティサービス
MaaSの検討・構築

交通事業者×地域
×県・企業の連携

自動運転レベルについて

ドライバーが監視	レベル0	【運転自動化なし】 ドライバーが全ての運転操作を実施	
	レベル1	【運転支援】 システムが加減速、操舵等をサポート	例：自動ブレーキ先行車に合わせた加減速車線はみ出し防止
	レベル2	【部分自動運転】 システムが加減速・操舵等を複数同時にサポート	例) 車線を維持し、先行車に合わせて加減速。先行車の自動追い越し。高速道路の合流の自動化など
システムが監視	レベル3	【条件付自動運転】 特定の場所でシステムが全てを操作し、緊急時にはドライバーが操作	
	レベル4	【特定条件下での完全自動運転】 特定の場所でシステムが全てを操作	
	レベル5	【完全自動運転】 場所を限定せず、システムがすべて操作	

※国交省ホームページ資料を基に作成

公共交通マップ作成について

1 概要

【誰もが見やすく、思わずおでかけしたくなる公共交通マップ】

既存のバス路線図は、デフォルメされた地形図にバス事業者ごとに色分けされた路線を落とし込んだものであり、目的地までの位置や距離、ルートが分かりづらい。

このため、誰もが見やすく、思わずおでかけしたくなる「おでかけマップ(公共交通マップ)」の作成を行い、市民及び観光客にとって分かりやすく機能的なマップとすることにより、公共交通機関の利用促進を図り、地域資源への回遊性向上による地域の活性化に繋げる。

2 掲載内容

●地形図に落とし込んだ路線

地形図で目的地を確認できるため、位置関係が分かる。

地図上には、行政機関や医療機関、学校、保育、福祉施設、観光施設、商業施設、サイクルスポット、観光スポット等を掲載予定。

●バスルートは路線ごとに記載

事業者ごとではなく路線ごとに色分けすることで目的地へのルートが明確になる。

●公共交通に関する情報の掲載

バスの乗り方、各種割引制度、高速バス・コミュニティバス、タクシー事業者一覧、バス・タクシーでの主要場所への運賃・所要時間、バス・タクシー乗り場案内図等の掲載を予定。

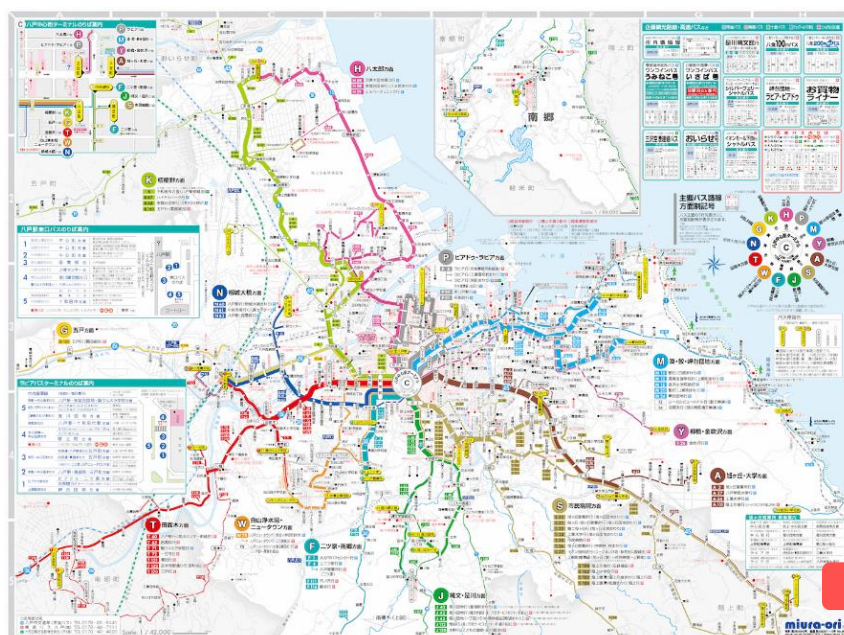
●スマートフォンやタブレット等で位置情報を閲覧できるアプリの掲載

マップ上で現在地と目的地を確認できるアプリを掲載し、機能的で移動しながらの観光利用にも対応。

利用促進と利便性向上のため、アプリのQRコード専用のチラシも同時に作成。

3 配布時期

10月1日号の広報ぬまづと併せて全戸配布予定。



バスマップ参考

「バスマップはちのへ」
出典：八戸公共交通ポータルサイトより

バス位置情報提供サービス活用補助について

1 概要

バス待ちイライラ解消の普及

バスの利便性向上サービスとして、運行状況をリアルタイムに反映した情報を提供することで、利用者は乗りたいバスの現在位置が確認でき、バス待ちの際のイライラ解消に繋がるバスロケーションシステム。

このサービスを広く普及・周知させるため、バス停の1つ1つにQRコードを貼り付け、携帯電話やスマートフォンなどで読み込むことでバスの運行情報を得ることができる取り組みを支援する。アプリをインストールする必要がなく、QRコードを読み込ませるだけで簡単に運行情報を得ることができるため、市内を訪れる観光客も気軽に利用でき、より快適にバスを利用することができる。

2 支援内容

バスの利便性向上に繋がる位置情報サービスの利用促進に係る取り組みに対し、その経費の一部を補助する。

利用者の不安を解消する本サービスは、バスの利用促進につながる有益なものであり、位置情報サービスの市内への普及促進を図るため補助するものである。

バスはもう行ってしまったのかな?

こんなイライラを解消!

BUS STOP

QR

遅れ	時刻
遅れ1分 通過している可能性があります。 タップしてバスの位置を確認してください。	定刻 14:00
【おさんぽバス】新浦安駅→浦安市役所→東京ベイ医療センター	ノンステップ
遅れ6分	定刻 14:01
【おさんぽバス】東京ベイ医療センター→浦安市役所→新浦安駅	ノンステップ
遅れ3分	定刻 14:09
【おさんぽバス】(外)高洲→今川→市役所→新浦安駅→日の出→高洲	ノンステップ
遅れ1分	定刻 14:10
【おさんぽバス】舞浜駅→浦安市役所→新浦安駅	ノンステップ
定刻通り	定刻 14:13

参考:ユニ・トラッド